

国央小だより

第8号
令和6年
12月20日
発行者
福田 泰



小中一貫教育実施中!!!



宇都宮市では平成24年度より、全市で「小中一貫教育・地域学校園」を実施してきました。小学校から中学校への進学時に、学習内容が難しくなることなどにより学習や学校生活にうまく適応できない、いわゆる中1ギャップの解消などが当初の目的の一つとして挙げられていました。

国本地域学校園でも、小中一貫教育の取組が着実に実施されるようになってきて、学力保障や学校生活適応、教職員の相互理解や地域とともにある学校づくりなどに成果が見られるようになってきています。

小中一貫教育・地域学校園の取組をいくつか紹介させていただきます。

○11月22日(金)小中一貫乗り入れ授業

国本中学校の先生が来校してくださり、6年生の理科の授業を行ってくださいました。リトマス試験紙を用いて様々な水溶液の性質を調べましたが、6年生の子供たちは、皆楽しく実験に取り組んでいました。



あと約4カ月程で小学校を卒業し中学校への進学を控える6年生ですが、中学校での授業の進め方が少しだけ分かってきて、中学校への進学の不安解消につながった児童もいたようです。

○11月26日(火)小中一貫おにぎりの日



各自、自宅でおにぎりを作って持参し、それを給食の時間に食べました。自分一人でおにぎりを握ってきた人、家の人に手伝ってもらって一緒に握ってきた人、それぞれに、おにぎりの具材や海苔の形を工夫するなどして、オリジナルのおにぎりを手に、笑顔いっぱいの給食となりました。

小学校と中学校で同日に実施する取組で、12月17日(火)には、“小中一貫お弁当の日”も実施しました。

○11月27日(水)あいさつ運動

朝の登校時間に、本校の卒業生でもある国本中学校の1年生約30名が参加してくれました。来賓玄関の外で、登校してくる小学生に、笑顔いっぱいで声を掛けてくれる中学生たち。今年の春に卒業したばかりの中学生の懐かしい笑顔に、小学生たちも笑顔であいさつを返していました。



生活委員を中心に、小学生たちも一緒にあいさつ運動に加わる様子も見られました。

3年生 宝木用水についての学習

11月26日（火）3年生が、宝木用水について学習しました。

今年度も、地域協議会委員で市の文化調査員でもある川村泰一様にご協力いただき、宝木用水を造った当時の人々の願いや苦労などを、分かりやすく教えていただきました。

教室での学習の後は、実際に当時の手掘りの跡が見られる近くの智賀津（ちかつ）神社まで移動し、そこでも子供たちに分かりやすく説明をしていただきました。



オープンスクール・土曜授業



12月7日（土）は全市一斉の土曜授業で、オープンスクールを実施いたしました。学年によっては、保護者の方に授業に参加していただき、子供たちと一緒に活動していただく場面もありました。当日は、たくさんの保護者の方にご来校いただき、子供たちの様子をご覧いただくことができました。大変ありがとうございました。



校内研究授業（要請訪問）



11月29日（金）に、要請訪問による校内研究授業が行われました。

2年1組で「かさこじそう」、3年2組で「モチモチの木」という、それぞれ国語の単元で授業を実施しました。当日は、たくさんの先生方が見守る中で授業が行われ、初めはやや緊張した表情を見せた子供たちでしたが、途中からは、緊張もほぐれ、グループで発表をし合ったり、友達の発表に集中して耳を傾けたりする様子が見られました。

放課後には授業研究会を行い、県教育委員会学力向上コーディネーターの鶴見行雄先生をはじめ、3名の指導者の先生方からご指導をいただいたり、参観した教職員が互いに意見交換をしたりしながら、熱心に研修を行いました。今後も、教職員が一丸となって前向きに研修を進めていきたいと考えております。



学校や児童の様子は、こちらからも見るができます

→ 国本中央小学校ホームページ <http://www.ueis.ed.jp/school/kunimoto-c/>

